

2024年5月10日

TOPPAN 株式会社

TOPPAN エッジ株式会社

TOPPAN と TOPPAN エッジ、スマート点検支援サービス「e-Platch™」に 水・薬品・油漏れを遠隔で検知する漏液センサーをラインアップ

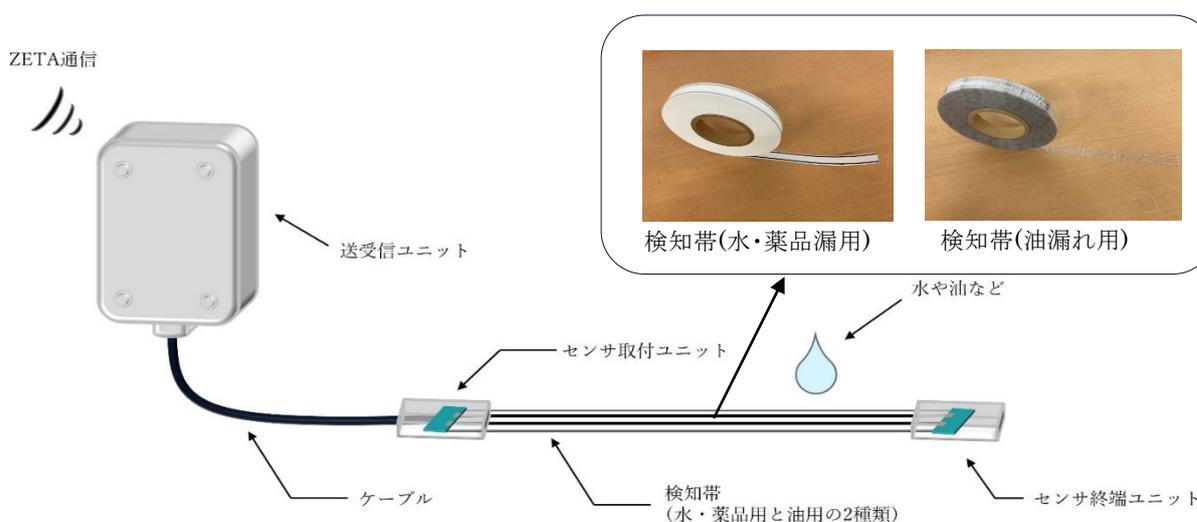
どこでも繋がる通信機能を搭載。印刷センサーを検知帯に流用し、
より広範囲での漏液検知を実現。導入しやすさを向上させるサービスも拡充

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:齊藤 昌典、以下 TOPPAN)と、TOPPAN エッジ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:添田 秀樹、以下 TOPPAN エッジ)は、工場などの施設における水・薬品・油漏れを遠隔で検知する漏液センサーを、TOPPAN グループが提供するスマート点検支援サービス「e-Platch™(読み:イープラッチ)」の新ソリューションの一つとしてラインアップ。2024年6月からデモを開始、2024年9月から量産・提供を目指します。

本漏液センサーは、印刷配線技術を応用したテープ状の検知帯が特長です。2種類の検知帯を使い分けることで水や薬品漏れだけでなく油漏れにも対応することが可能になります。本漏液センサーをスマート点検支援サービス「e-Platch™」の新ラインアップとして提供し、より広範囲での漏液検知を可能にします。

あわせて、「e-Platch™」のサービスリリース以降要望が多かった、初期導入費用を抑えた新料金プランや、既存システムとの連携を目的とした外部向け API の提供も順次開始し、これまで以上に手軽に「e-Platch™」を導入することが可能になります。

なお TOPPAN は、2024年5月29日(水)から31日(金)に開催されるワイヤレスジャパン 2024(会場:東京ビッグサイト 西3・4ホール)に、稲畑産業株式会社(本社:大阪府大阪市中央区、代表取締役社長:稲畑 勝太郎)との共同出展を予定しており、本展示会において本漏液センサーのデモも展示予定です。



「漏液センサー」の概略図

© TOPPAN INC. ©TOPPAN Edge Inc.

■ 本漏液センサーのラインアップおよび新サービス拡充の背景

近年、人手不足や少子高齢化の影響もあり、工場における DX、自動化の需要が急速に高まっています。特に工場や産業施設においては建屋の老朽化に伴い配管等からの漏液事故が増加傾向にあることから、広い敷地内や奥まった点検箇所を限られた人手で定期的に点検して回る必要があり、遠隔で自動的に漏液を検知出来るシステムの導入が求められていました。

このような課題に対し、本漏液センサーはどこでも繋がる無線通信機能を搭載し、また柔軟に実装が可能な印刷配線技術を活用したテープ状の検知帯を用いることで、より広範囲での漏液検知を可能としました。さらに「e-Platch™」に連携することで、漏液だけでなく温湿度や電力量、異常音など、工場における各種監視対象のパラメーターについても一括管理を可能にし、工場などで求められている点検作業の効率化を網羅的に実現します。

また、これまで要望の多かった初期導入費用の低減を目的とした新料金プランの提供や、顧客企業が導入済みの、既存の見える化システムにもデータ連携を可能とする外部向け API の提供も進めます。

■ 本漏液センサーの特長

・印刷配線技術を応用した 2 種類の検知帯

印刷配線技術を用いたテープ状の検知帯により、広範囲かつ柔軟に実装が可能となります。また、水・薬品漏れ用と油漏れ用の 2 種類の検知帯があり、幅広い液体を検知することができます。

・どこでもつながる無線通信

有線ネットワークの敷設が難しい排水処理場などの離れた設備や配電盤の中など、一般的には電波が届きにくい場所においても安定した通信が可能です。地下やクリーンルーム内などあらゆるポイントにおいて遠隔監視を手軽に実現します。

■ 今後の目標

TOPPAN グループは漏液センサーをはじめとする「e-Platch™」のさらなる機能拡充・拡販を推進し、2025 年度までに 600 件の導入を目指します。

■ スマート点検支援サービス「e-Platch™」について

「e-Platch™」は無線通信を使用し、点検作業に必要な各種データを自動収集し、見える化するシステムです。アプリケーションの活用により各センサーに設定した閾値を超えた際に自動でアラートメールが送信される為、点検負荷の低減が可能です。後付け設置が可能な DX ソリューションで点検作業の業務改善をサポートします。

「e-Platch™」を導入した TOPPAN 熊本工場では「e-Platch™」によるロス改善活動を進め、2023 年度で従来の点検作業時間の約 70%に匹敵する約 380 時間/月を削減。捻出したリソースで外部に委託していた作業を内部に取り込むなど業務の最適化や取得データを用いたロス改善を進めることで 5,040 万円/年の費用削減効果を確認しています。TOPPAN では顧客ごとの課題抽出や導入効果の試算などの提案にも注力しており、「e-Platch™」を通じて多くの企業において経営課題となっている環境配慮型の工場運営にも貢献していきます。

「e-Platch™」製品紹介ページ: <https://solution.toppan.co.jp/smartdevices/service/eplatch.html>

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上